

社団法人名古屋工業会会誌



2012 11-12 月号

[交流コーナー]

どうしてあなたが!!(その1) 50年間の学食メニュー移り変わり インドネシア駐在記

[随 筆]

老年期の一考察について

[ホットライン]

国際化推進事業費(学長裁量経費)授与式

[新聞記事コーナー]

名工大院生がAC-CA国際建築コンクールで3位入賞

[学生コーナー]

動脈硬化を早期発見する装置 研究室の旅〜佐野・田中・星研究室 デザインの間オープンゼミ開催 携帯端末などでメイちゃんと接することが可能に!

[学内ニュース]

マレーシア日本国際工科院(MJIIT)の開校式 他

[情報ネットワーク]

支部報告・会員ニュース



発行 社団法人名古屋工業会

(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0062名古屋市昭和区狭間町4

TEL • 052-731-0780

FAX • 052-732-5298

E-MAIL • gokiso@lime.ocn.ne.jp

http://www.nagoya-kogyokai.jp/



平成25年 名古屋工業会東海地区新年互礼会

恒例となりました東海地区新年互礼会を名古屋支部主催、三河、尾張、岐阜、三重の各支部協賛で 下記の通り開催いたします。ご多用中恐縮ではございますが、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

日 時:平成25年1月6日(日) 12:00~14:00

場 所:名古屋工業大学大学会館

会 費:3,000円

ご出席下さる方でEメールをご利用可能な方は、12月14日(金)までに、支部統括連絡 先のメールアドレス(E-mail: gokisonagoya@gmail.com)まで直接お申し込みください。 Eメールを利用されない方、及びこれまで通りの連絡方法をご希望の方は、以下の各 単科会の連絡幹事までご連絡をお願い致します。

CE会	山盛 康	$(C \widehat{3})$	TEL 052-691-5351	名窯会	多賀	茂 (Y62) ′	TEL 090-6801-3353
光鯱会	宇佐美智伯	(A 6)	TEL 052-704-6137	名晶会	小山	敏幸 (K61)	TEL 052-735-5124
巴 会	杉山 耕一	(M6)	TEL 0562-55-7772	計測会	大鑄	史男 (F49)	TEL 052-735-5393
電影会	三宅 正人	(E60)	TEL 090-3581-4472	経友会	仁科	健 (B50)	TEL 052-735-5396
双友会	泉地 正章	(W44)	TEL 052-837-7271	情友会	犬塚	信博 (J 62)	TEL 052-735-5050
緑 会	大橋 聖一	(D45)	TEL 0533-87-3741	翼 会	小鹿	良雄(⑥23)	TEL 0561-72-4071

※各単科会の連絡幹事の方は、メールにて参加者情報をご連絡いただけますと幸いです。

支部統括連絡先: 橋本 忍 (名古屋工業大学環境材料工学科内 名古屋工業会名古屋支部庶務) TEL: 052-735-5291 / FAX: 052-735-5281 E-mail: gokisonagoya@gmail.com

第98回管弦楽団定期演奏会開催のお知らせ

名工大の定期演奏会は春と冬の年2回行われ、毎回千人弱が来場しています。演奏曲目は作曲家の背景や交友を踏まえ、団員が決めています。名工大の管弦楽団は他大学と比べOB・OGの割合が多く、新鮮な現役生と熟練したOB・OGの両方の演奏を楽しめます。皆様のご来場を歓迎いたしております。

記

日 時:11月24日(土) 開場17:45 開演18:30

場 所:愛知県芸術劇場コンサートホール

演奏曲目:ボロディンの歌劇「イーゴリ公」序曲

ボロディン交響曲第3番 ブラームス交響曲第3番

当日券800円・前売り券700円(手数料別) お問合せはnitorchestra@yahoo.co.jpまで。



表紙写真説明

「燃もゆる秋!」(奈良公園)

撮影者 安村隆志 (W(1))





どうしてあなたが!! (その1)

立川 満(W55)

双友会の会長さんや諸先輩からテーマについて、いろいろご指南いただき、ちょっと中途半端なイメージはありますが、「どうしてあなたが!!」。意味は広いんですけど話をさせていただきます。

初めに「名工大の存在意義」と。昭和30年後半の卒業生の方々は、こういうことを考えながら、学び舎に来ておられたということがわかりました。その答えは、「技術の侍」とこういうふうにおっしゃっておられまして、理屈もさることながら技術を磨いていく学校やと、こういうような意気込みで学び舎に通っておられたということでした。「技の国立大学」「技の名工大」であると。これからも、「技術の探求者」であって欲しいと。技術と真理の探究者ですね。これが存在意義です。大先輩語録より抜粋させていただいております。

さて話の本題ですが、皆さんこの写真(女優: 水野真紀さん)をご覧頂いて、この方に関係する方、どなただと思われますか?この人に関係する方のお話をしたいなと思って。後藤田正純さん、国会議員の方ですね。この人の大叔父さん、この人のおばあさんのお兄さんという方で、後藤田正晴さんという方です。「どうしてあなたが!!」に絡むところがあるんで、こういう先輩の生き様から学ぶことはないかということです。

後藤田正晴氏から学ぶこと

1914年で徳島県生まれ。残念なことに、ちょうど7歳のとき、お父さんを、9歳のときにお母さんを、病気でご両親を失いました。それでお姉さんの嫁ぎ先にもらわれ育っておられます。幼年期は、不思議なことに「泣き虫」という名前のあだ名があり、何かめそめそしているところがあったようです。水戸高校、それから順当に東京帝国大学法学部を卒業し、その当時



の内務省に入りまして、なぜか終戦の時には台 湾にいて捕虜生活を送っておられました。

日本に戻ってきたら即、警察庁の保安部。そ の後、警察庁長官。その間にも1960年代の安保 だとか、いろいろ経験されておりますが、長官 となった年にいきなり東大紛争で安田講堂へ。 安田講堂で警察が学生に向かって放水して、想 像できないかもしれませんが、学生が講堂占拠 してバリケード作って抵抗して、こんな時代が あったんですね。発端は医学部の生徒に対する 処罰が間違っているにも係わらず学校がそれを 認めず押し切ろうとするので、学生が怒り心頭 に発して最終的には講堂を占拠するに至ったん です。このときに長官として後藤田さんが何を やったか?要は学生は学校に腹を立て怒ってい ると。一つのキーワードとして「殉教者を出す な」と。爆弾テロで自爆するような方も殉教者 なんですが。こういう意味合いで、もし命を亡 くす学生がでたら、若い人が今後、日本国に対 して歯向かうだけの人になってしまう。それは いかんということで、「拳銃を向けるな」とい うことをおっしゃられたらしいですね。ただ、 学生が非常事態を引き起こしているのに、拳 銃を向けるなということも、普通言えないんで すけども、警察官は国民を守るもので、国民に

拳銃を向けてはいかんと。こういう物凄い強い理念・信念を持っておられたようです。結局学生側は最初47人だったんですけど、警察官700人で抑制的に権力を使うことに。でも700人でガーッといくんじゃなくて、待ってあげる。結局は国民の信頼を得ないと治安も維持できないんで、力づくはだめだと。警察の方に対しては、「忍耐」ということを徹底指示しながら、この問題を解決されていった方です。

それからこの翌年、1970年よど号ハイジャッ ク事件がありました。九州まで行くよど号とい う飛行機を「北朝鮮まで飛ばせ」といった事件 がありました。その翌年に、今度は成田空港建 設で領地収用するときに、機動隊員3人がリン チで殺されたとんでもない事件がありました。 そのときにも、「拳銃を使うな」と指示された ということでした。その翌年には、あさま山荘 事件がありまして、長官だったので、「どうす るんですか突入は」との問いに、現場の指揮官 に「成功するか不成功かどうや?」と聞いた ら、「わかりません」と返ってきたらしいです ね。そしたら、「わかった強行突破しろ」とい うことでした。このときも殉職された警察官が おられるんですけども、人質と犯人は全員無事 でした。ここで驚いたのは、奥さんがおられる 方と長男の方は突入をさせるなという指示もし ていたようです。そのときに、「カミソリ後藤田」 というあだ名がついたらしいです。

その後、一度の苦しい落選を経験する中、役人を卒業して違った形で世に役に立っていこうといっておられたようです。2年後、国会議員に当選。その3年後国家公安委員長になられました。こういう役職を経験する中で、中曽根元首相のときに、総務庁長官だったんですけども、翌年に大韓航空機をソ連が領海侵犯で撃とした事件があったり、東京の三原山が大噴火したりと、様々な事件がありました。三原山が大噴火のときには、水素爆発の恐れがあるので最悪の事態を想定して対応しろと言っているにも係わらず、官僚の方々は会議を19やっておられたらしいです。結果、船が無いので救助は無理だという結論を後藤田官房長官のところへ持って後たときに、「今回は内閣が直接責任をとって俺

が指示をする」ということで何をやったか?自 衛隊と海上保安庁と民間の船を確保して、一日 一夜というか、一日にして島民1万全員避難を させた。結局は、人為的、自然発生的、天変地 異を含め、いざというときの対策はいつも頭の 中に置いておきなさいと。要職、責任のある立 場にいれば、絶えず頭に置いておけと、これは 今よく言われている危機管理能力です。今の日 本にあるかないかというのは、議論はしません けども、見事に最悪の事態を想定して「小出し」 をしないで「一気に」ということで対処された という一つの事例です。

役人の方たち自身の言葉で後藤田は「精通し ています。」と。要するに、悪い情報を全部俺 のところに持ってこいと。上司が3年ごとに交 代するなら、ゴマすって3年間うまくいけばよ い。こういうことではあまり悪い情報は上に届 かないですね。その代わり、後藤田は報告させ た以上はその結果を出しておられると。それを 継続すると、お役人の方は本当に困ったことは 相談にこられるようです。一番問題が発生する 情報が集まってくるので、結果的に「情報に精 通している」という信頼を勝ち得るわけですね。 昔まだソ連とアメリカが冷戦状態のときに、こ れを輸出したら駄目だとか、武器に相当するも のは駄目だとかを取り決めるココム(対共産圏 輸出調整委員会)というのがありました。その 当時、コングスベルグというソ連の会社へ日本 のあるメーカーが、ガリガリとこう削る装置を 輸出したんですね。それは何が問題かというと、 潜水艦というはスクリューの回転音で、どの潜 水艦かわかるんですね。ところが音を出さない、 きれいに加工ができる、といった装置を輸出し ました。このとき時効になっていたので、通産 省はこの事実を内緒にしようとしたところ、後 藤田さんは、表へだしたのです。その当時中曽 根さんが、日米通商摩擦でアメリカへ謝りに行 くところだったので、コングスベルグの問題が 出たら大変になるところを黙認しようとしてい た動きがあったんですが。日本国内で逮捕者が 出ましたが、そういうときにも、きちんと理を 通すことを実行されたのです。

後藤田五訓これ5つ。

- 1. 出身の省庁によらず、省益を忘れ国益を 想え
- 2. 悪い本当の事実を報告せよ
- 3. 勇気を以て意見具申をせよ
- 4. 自分の仕事でないと言うなかれ
- 5. 決定が下ったら従い、命令は実行せよ

法務大臣のときには、死刑執行をされました。 日本は死刑執行をあまりしてないんですね、法 務大臣が判子を押さないと執行されません。そ れでは法治国家としては望ましくないというこ とで。ちょうどこの年にあさま山荘事件などで 問題を起こした赤軍派の方々の死刑が確定され た年でもあり、非常にセンセーショナルな執行 命令だったんですが、これを最後にして96年に 引退されてお亡くなりになられました。こうい う方だったんですね。

後藤田正晴氏から学ぶこと

我々は何を学べるか。幼少のいろいろな生い 立ちから、泣き虫と言われたにも係わらず、最 終的には「政界のご意見番」となり、テレビの 政治番組の対談などで出演されてたんですけれ ども、国民から信頼を得た方になったわけです ね。何を学ぶか。繰り返しになりますけども、 いざというときの対策をいつも頭におけと。人 について教えてもらうことを積み重ねているう ちに自分がわけわからなくなるじゃなくて、自 分の意思で回りを見ながら、対策をいつも頭に 考えておけと、こういうことをおっしゃってお られました。万が一何か起こったときには、小 出しにするんじゃなくて一気に最悪の状況に対 処しなさいと。それから悪い情報こそ報告せよ。 忍耐、極力自制せよ。最後に一つだけ、悔いが 残っているとおっしゃられたことですが、第二 次安保時代にのべ600万人の警察官を動員して 警備したんだけれども、やっぱり亡くなった方、 殉職された方達とか、怪我をされた方がいたの は、彼らの家族のことを考えると自分の人生に 悔いがあると。これだけいろいろ気を配ってい かれたにも係わらず、やはり悔いが残るという ことをおっしゃっておられたらしいです。だけ れども、この当時のおそらく小学校、中学校の 同級生からみたら、どこかで、ああさすがやな となるかもしれませんけれども、まさかこういう方になられるというのはその時点では誰も思っていなかったんじゃないかと思います。

(故)後藤田正晴氏より学ぶこと

幼少時『泣き虫後藤田』から『カミソリ後藤田』、晩年には 『政界のご意見番』と異名を取るほどに至った方である

- ①常日頃から
 - ⇒人為的、自然発生的、いざという時の対策はいつも頭に おいている
- ②非常時は
- ⇒最悪の事態を想定し対応⇒小出しにするな
- ③悪い情報こそ報告せよ(する)
- ④忍耐、極力自制せよ(する)
- ⑤生涯の悔い
- ⇒第二次安保時代に600万人の警察官を動員し警備側に 1万2千人の死傷者が出たことを生涯の悔いとした

≪この章終わり≫

日露戦争(海戦)から学ぶこと

その次。これ(戦艦『三笠』の写真)はなんでしょうか?戦艦三笠という古い船です。1902年イギリスで完成して日本に就役しました。長さ130m、幅23mの船ですから、海の上で最高速度33km/hぐらい。これは日露戦争のときに、日本が旗を立てて、参謀や大将が乗っていた船ですね。

古い話ですけど1904年、当時の日本はロシア と戦争をやったわけです。そのときに、この三 笠で指揮を執ったのがその当時の海軍元帥の東 郷平八郎です。日本は海と陸と両方で、ソ連の 前身である世界最強の国と戦争したんですね。 1904年開戦当時、日本は1868年に明治維新で、 それから36年しか経ってないんですね。ちょん まげがダメだぞって言った時代から、36年しか 経ってない時期に、ロシア帝国という最強の国 に、世界で一番面積の広い国に歯向かったとい う。そのロシアは、もう183年目、超帝国です。 どのくらいの国力の違いがか?日本の歳費は年 間2億5千万円です、ロシアは20億円。日本の 常備兵力は約20万人でロシアは300万人。これ が国力の差です。海外論評ですがアメリカの大 統領が、日本の勝率は20%と。実はこんな内容 で戦争してます。

じゃあ何故戦争をしたのかと。『皇国の興廃 この一戦に在り』という言葉。おそらく日露戦 争をせず、ロシアが攻めてきたらおそらく日本は分割されるとか、今のような日本の繁栄はもしかしたらなかったかもしれないなというぐらいの危機的状況だったんです。その10年前に日清戦争で偶然といいますか、張子の虎の清に勝ったんですけれども、今度は本家本元が張子の虎の向こう側から攻めてきますから、どうするんやということで日本はものすごく準備しました。国を守る、国体を守るということで。

ただ、運がよかったのは、その当時ロシアは ドイツとフランスと仲が良く、ドイツとフラン スはイギリスとあまり仲よくなかった。それで、 イギリスが日本に協力して日英同盟を結んでい ました。日清戦争で勝った賠償金(3億5千万 円ぐらい。その当時の日本の国家予算より大。) のうち約60%で造船(ほぼイギリス製)しまし た。日露戦争の海戦時は『天気晴朗ナレド波高 シ』っていうキーワードが一つあるぐらい、天 候に恵まれたということもありました。さらに、 2月にお互い宣戦布告して、世界一のバルチッ ク艦隊がヨーロッパを出港して、7ヶ月ぐらい 経ってやっと海戦にきました。そのバルチック 艦隊を日本の船が海戦で全部やっつけちゃった ものだから、2ヶ月後に、もう和平。大きな国 と戦争をしたわりには、短期間で終わったんで す。じゃ、そんなにロシアのバルチック艦隊だ け弱かったのか?陸軍に関して日本は大敗して います。

世界最強の艦隊(バルチック艦隊)との日本 海海戦においての損害ですが、ロシアは最新鋭 の軍艦4隻含めて6隻、他15隻が沈没です。拿 捕したのが6隻。そのうちの1隻は日本の軍艦 にした(日本名つけ就役)。中立国アメリカな どへ逃げていったのが6隻、ウラジオストック に帰還したのが3隻。日本はなんと水雷艇が3 隻、夜襲をかけてやっつけられた3隻だけです。 人はどうか。ロシアの方はかなり亡くなられて います(4830名)。ほとんどの方は海へ放り出 されて、対馬や島根、いろいろなところで住民 に救助され、日本海軍も救助しました。救助さ れた方の数の方が多くて6100名。日本人は117 名が亡くなられています。 アジアの非列強国が超大国に戦勝したことが、 何を世の中にもたらしたのか。

アジアの非列強国、日本なんかはまだまだ、 明治維新から36年でしたから勝つわけない。し かし、ロシア帝国に勝ちました。しかもバル チック艦隊を破って勝ちました。ロシアの南下 政策、つまりロシアは外へ出るため凍らない港 が欲しい。ヨーロッパの方は列強も強いし、そ れでアジアの方に来ようというところがあった んで、これを阻止した形になったのです。とこ ろが日清戦争のときには3億5千万円あまりの 賠償金をとったんですけども、日露戦争後では ヨーロッパの各国が賠償金を日本に払うなとい うことになったのです。この金でまた列強に対 して、陸軍含めて軍備拡張されたらとんでもな いことになるということでした。ということで 戦争に勝ったのに賠償金が出なくて、日本の国 家財政以上の借金が山ほど海外に残ってしまい ました。またロシアはどうなったかと言うと、 12年後、第一次世界大戦の途中にロシア革命で、 長い間続いたロシア帝国は無くなりました。世 の中に非常に大きな変化をもたらした近代戦争 を日本がやった時代がありました。

日本の勝因

なぜ日本は勝ったかと。驚くなかれ八甲田山の雪中行軍でいうのは1902年なんですけども、 当時の日本はロシアと会戦する事になると想定していました。中国大陸で戦争すれば必ず雪の問題がある。それで八甲田山の雪中行軍で、青森と仙台の方から2日かけて寒いところで軍隊にどういうようなことが起こるかという訓練をするのが大きな課題として周到な準備を日本はやってました。

その他もう一つ、皆さんも驚くと思うんですけども、1904年には日本はイギリスとの間で、もう海底ケーブルで結ばれていたんですね。日本は台湾まで海底ケーブルを引いてたんですね。インドはイギリスの植民地でもあったので、イギリスは既にインドまで海底ケーブルを引いていました。日本はインドまで繋ぎ、日本とイギリスは海底ケーブルで繋がっていました。通信速度は1秒間に日本語で20文字ぐらい。ロシ

アの船が出たとか出ないとか、兵隊が寝ているとか起きているぐらいだったら1分間の間に充分情報が流れてくるんです。既に日本はそういう情報装備をしていました。また当時の英国最新鋭の無線を使って、船と船の間、軍艦とか巡洋艦の間を無線で交信できるようにしていました。ロシアはそこまでできていなかったんですね。これも周到な準備です。

それから武器弾薬の開発。これもだから、ちょ んまげの後のほんの36年間でよくやってたなと 思うんですけども、今でいうTNTとかって火 薬よりももっと爆発力の大きいのを製造してい たらしいんです。当時この火薬を使って大砲の 弾に詰めてました。大砲の弾っていうのは貫通 弾といって貫通して破裂するというより、貫通 してやっつける。船を沈めるわけですから、貫 通する弾が多かったらしいです。ロシアの弾は 貫通する弾が多いんで、煙突に当たると突き抜 けて反対に落ちるということなんで、煙突の煙 が横から出るぐらいの被害で済んだのですけど も、日本の弾は燃やすと。燃やすためには、敏 感な信管が必要でそれを造ったんですね。ロー プに当たっても爆発するぐらいの物凄い敏感な 信管らしいです。ですから日本の弾がロシアの どこかに当たれば、猛烈な火が出た。これがロ シアの大きなマイナス要素になったといわれて

それと、やはり訓練。砲撃後、迅速に次の弾を撃つ。この訓練を山ほどしましたから、ロシアが1発撃った間に日本側は2発か3発ぐらい撃ったのです。しかも弾速が早く、炎がびっくりするほど出るやつが飛んでいくわけですね。それと、一斉射撃。一旦照準を合わせたら一斉に大砲で撃ってその次にまた連射が出来きた。これも事前に想定してその訓練をしていたようです。

後は、脚気対策。昔の兵隊さん、歩くだけでなっちゃって、それが非常に大きなマイナスになるんですけども、白米ではなく麦飯にして、脚気防止をこれも全部仕込んだ上で戦争に向けて準備万端の状態でした。

さらに、ここが偉いのは、あのバルチック艦 隊に中途半端にやったって負ける。大砲の門数

だけでも日本の倍持っていた。そんなやつを やっつけるためには事前によほど考えておかな いと勝負は話に全くならない。まず早期哨戒と いうことで、対馬海峡のあたりでやろうと決め ていたみたいですから、そこをずっと72隻、碁 盤の目のように地図を作って、漁船やいろんな ものを配置して、見えたとか見えないとかって いう、今でいうGPSをアナログでやったみたい ものですね。早期哨戒をして、大事だったのが イギリスからの情報です。ロシアがどこどこに 寄港しようとしてもイギリス領には寄港させま せんでしたから、非常に苦労しながらバルチッ ク艦隊が日本へ向かっているというのを全部、 早期に情報収集できていたらしいんです。あと、 日本は編隊の艦隊編成で速度の遅いもの同士、 性能の似たものを編隊として併せていった。ロ シアっていうのはバラバラだったんです。丁字 戦法というのは、トウゴウ・ターンといってね、 バルチック艦隊をやっつける一番大きな戦術で した。それでもって練習成果をみせつけたとい うようなことでした。

やっぱり一番大事なのはネットワーク。武器 一つ一つが立派でもだめやと、あのバルチック 艦隊が日本でガタガタにやられたっていうの は、ネットワーク作戦の実行が大事やというこ とです。だから情報戦もあるし、訓練もしてい るし、装備自身の磨き上げもしている。それと もう一つは、ボイラーはイギリス製じゃなくて 日本製の軽量なボイラーを搭載していました。 この当時はまだ石炭を焚いて蒸気を出すわけで すけど、蒸気ですから水をどんどん入れないと いけません。水を入れやすくしないと次の行動 に出られないということで日本製の立派なボイ ラーを使って、速度も出るということになって いました。ちょっと遅れても追いついちゃうん ですね。道具を、ネットワークによって有効に 使うということです。また日本は軍隊という組 織でネットワークされていました。部下が東郷 さんに意見を言える。ロシア帝国海軍の貴族か らのトップダウンとは異なる組織であったこと も勝因でしょうか。

(次号へつづく)





50年間の学食メニュー移り変わり

名古屋工業大学生活協同組合 専務理事 稲吉 顕吾(EI②)

2012年4月、大学会館の耐震工事が完了し食 堂もリニューアルしました。生協は1962年(昭 和37年)に法人化、今年で50年の節目を迎えま した。引越しの際に資料を整理していたところ、 ある新聞記事の切り抜きを見つけました。記事 のタイトルは「昔の値段が味わえます」。今か ら30年前の1982年(昭和57年)に20年前の価格 でメニューを提供した企画を伝えています。記 事から当時のメニューをご紹介します。

「(昭和) 三十七、八年ごろの代表的なメニューを紹介しよう。まず一番値が張ったA定食は百円。日替わりで中身は定まっていないが、一例をあげるとカキフライに野菜のカレー煮など。次いでB定食の八十円、やはり日替わりで豚肉と野菜のクリーム煮など。このほか、ランチ六十円、カレーライス五十円、ライス二十五円。」「現在(昭和57年)の主なメニューも紹介してみよう。当時のA定食に相当する工大ランチは、同じく日替わりで三百円。中身の一例をあげれば、ミンチカツにアジのてんぷら、それにインゲンのおひたしなど、ものすごいボリュームだ。キャンパスランチ三百三十円、エコノミーランチ二百三十円、うどん定食二百五十円、カレー百五十円なども人気の的だ。(…中略) 今から



図1. 旧大学会館(1981年ごろ)

思えば、夢のような値段だ。裏を返せば、こんなにも物価の上昇が激しい、との証明でもある。」今の平成から見ますと、昭和の成長期を 彷彿とさせる記事です。



図2. 1962年当時の100円で提供(1982年)



図3. 新聞記事(中日新聞、1982年)

2012年(平成24年)現在のメニューをご紹介します(価格はすべて税込価格です)。A定食100円(昭和37年)、工大ランチ300円(昭和57年)に相当するメニューは工大ランチ(400円)です。今も日替わりで人気です。また、エコノミー(315円)、和風定食(473円)といったメニューもあります。カロリーが気になる女子学生には、野菜が多く揚げ物が少ないメニューが人気です。

つづいて食堂施設・サービスをご紹介します。

1階の大食堂は施設改修により席数が50席増え、500席に広がりました。ホールは白を基調として全体的に明るく、清潔感のある食堂に生まれ変わりました。窓際にはハイカウンターの席が設置され、外の景色を眺めながら食事ができます。

2階のカフェテリア食堂には新しくサラダバーを設置。野菜や総菜を自分の好きな量で食べられます。 2階食堂ホールは南向きに広く明るい空間になりました。

カフェテリア食堂では朝、昼、夕食の3食を 提供しています。朝食は350円で、おかず1品 にサラダバー盛り放題。さらに、ご飯・みそ汁 も盛り放題で提供しています。下宿生の学生に は朝食と夕食を毎日提供する、前払い制(半期 分一括払い)の食事サポートサービスを行って います。このサービスを申込んだ学生は朝食が 1食あたり50円安くなります。「毎朝、講義が始 まる前にしっかりと食事を摂ることができ、子 供の生活習慣がよくなった」と、保護者の皆様 からも好評です。

50年間の移り変わりはメニューだけではありません。生協では2012年5月、IC学生証のキャッシュレス機能を活用した食事利用記録のWeb閲覧サービス「マイページ」を開始、保護者の皆様もご覧頂けます。また食堂レジには食器に貼付されたICチップを読取り、自動で価格を集計、IC学生証で決済できる「オートレジ」というシステムを導入し食堂利用者の6割の方に利用されています。次の50年はさらによりよく移り変わっていくことでしょう。



図4. ごはん・サラダ盛り放題の朝食



図5. 大食堂ホール (500席)



図6. カフェテリア食堂ホール (200席)



図7. 新大学会館(2012年)





インドネシア駐在記 これから海外を目指す人のために

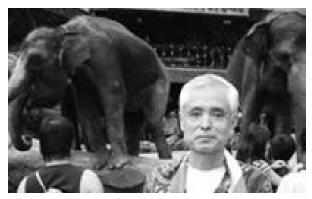
久田 廣(D43)

新興国における経済成長と購買力のある中間 層人口の増大、更には近年の超円高などにより 国内企業が生産拠点を海外に移す動きが強まっ ている。従って、この海外会社を運営するため に現地駐在員として赴任する人は増えていくこ とと思われる。「海外駐在を頼む」と上司から 言われると誰でも逡巡、躊躇することだろう。 その場合、経験者の話を聞くことで現地の状況 が分かり少し気持ちも落ち着くものだ。私は、 84年から88年と2007年から08年、合計5年間 ジャカルタに駐在した。当時の思い出も含め、 諸経験を記す。

海外駐在を引き受けるとき、次の一つ以上が 満たされていれば大丈夫である。

- ◆なんでも食べることが出来る
- ◆どこでも寝ることが出来る
- ◆おしゃべり好きである

地元の料理をえり好みせず食べることは現地と親しくなる第一歩である。また、暑さで食欲が落ちる中、食べる事は健康維持の面で重要である。海外勤務はやはりストレスがたまる。それにもめげず熟睡できる図太さがあればよい。海外となれば英語力を考えるが、それ以上に重要な点は本人が話し好きか否かである。無口な



2007年、ジャカルタ郊外へ社員旅行

人は元々コミュニケーションがとりにくい性格 であるから現地でも多分苦労するであろう。

受諾のもう一つのポイントは勤務環境であろう。それは三つに分類できる。

- ①ジャカルタに住み、市内の事務所で仕事
- ②ジャカルタに住み、郊外の工場まで通う
- ③ジャワ島以外に住み、現地で仕事

高級住宅地から社用車に乗り、東京丸の内や大阪本町のオフィスに出勤し昼食はビル地下の和食堂のパターンが①に相当する。海外にいる認識はあまりわかない。メーカーとして進出した場合は②が多い。高速道路も充実してきたので昔に比べれば通勤時間は短くなった。③はLNGなど天然資源開発、ダムや発電所建設等、へき地での仕事が多い。

人事異動を了解したら赴任の準備で最初にあ がる項目が外国語会話の習得だが私は事前の会 話勉強はあまり勧めない。ジャカルタに着任し 会社ではインドネシア語と英語だけが飛び交い アパートに帰ってナイター中継などテレビで時 間をつぶす事も出来ず、自ずと毎晩約2時間イ ンドネシア語を勉強することになる。15日目の 朝、迎えの運転手のインドネシア語が何の抵抗 もなく聞こえて来るのだ。私は自然にインドネ シア語で応答、会社へ行っても同様であった。 3才のわが子は地元の幼稚園に行かせたのでイ ンドネシア語を一番早く覚え、かつ流暢であっ た。6才の時に帰国しすぐ幼稚園へ通った。毎 朝、ジャカルタ時代にしていたように「スラマッ ト・パギ (おはよう)」と挨拶したが帰国15日 目の朝、「お父さん、何言ってるの」と言葉が 返ってきてびっくりした。「インドネシア語だ よ」と言っても全く覚えていない様子、二週間

で脳の言語回路が根本的に変わるようである。 よって日本語を絶ち二週間外国語漬けになって 言語回路が変わる事を信ずればよい。

私が勧める準備項目は次の三つである。

◆技術、製造、設備、資材等々との人脈を作る

海外では一人で何役もこなさねばならない。 自分の知識、経験のみでは解決出来ない事が 多々ある。その時にダイレクトに問い合わせで きる人を作っておくことは重要である。技術担 当で赴任しているから設備の事は分からないと か、製造が専門だから資材、原料の調達は知ら ないと答えずローカルスタッフの質問は全て受 け止め日本の専門家に回答を求める姿勢が大切 である。スタッフとの親密度が増し日常業務、 労使関係がよりうまくいく。

◆赴任国の歴史、特に近代史を勉強しておく。

学校で習う「世界史」は、大学入試であまり出題されない、学習時間が無くなった等の理由で第二次大戦以降の「世界史」は表面的になることが多い。シンガポール、セントサ島やジャカルタ、独立記念塔地下には旧日本軍が占領し住民を苦しめた事を表したジオラマが有る。この展示を見て国家独立が苦難な道であった事を学んでいるのであろう。山本五十六、今村均、山下奉文を知っているので我々も説明できないとはずかしい。蛇足だが、旧日本軍はジャワ島西部、メラク(Merak)に上陸し陸路ジャカルタに進軍したが途中、タンゲラン(Tangerang)



中部ジャワ、パンガンダランに今も残る旧日本軍の設備。 英国軍艦を迎え撃つためのものと地元の人から聞いた。

を通過している。駐在した会社はその地に有り 又進軍した道路に面していたから84年着任時に は反日感情への不安が有ったがトラブルはな かった。長老は"旭日行進曲"を口ずさんでく れた。

◆イスラム教、キリスト教の基礎知識

長期滞在申請書に宗教を記入する欄が有る。 日本人は「なし」と申告し易いがしてはいけな い。宗教がない人は軽蔑されることを覚悟した 方がいい。宗教にはタブーがある。イスラムで はブタを食べない。「もし間違って食べたらど うしますか」、「食べた事もないのにどうして豚 肉の区別が出来るのですか」などの質問は慎む べきだ。次に多いのが、「妻は4人まで持てる んだって」と男性目線の質問だ。この源はコー ラン (正しくはアル・クルアーン) 婦人章 3節、 「あなたがたがもし孤児(の女)たちに対し、 公正にしてやれそうにもないならば、あなたが たがよいと思う2人、3人または4人の女を娶 れ。」の最後の言葉のみを捉えているからであ る。これに続く、「だが公平にしてやれそうに もないならば、ただ1人だけ娶る」と書いてあ り現実は一夫一婦が大部分である。この3節の 背景には戦争、病気などで夫を亡くした女性の 救済があると聞いた。

就労ビザが下りれば早速赴任である。84年、出発の伊丹空港には会社、労組関係50名ほどの見送りを受けた。「健康第一、仕事は第二で頑張れ」、「元気で帰ってくればそれで十分」といった悲壮感漂う言葉に送られて搭乗した。当時は1ドル=250円、海外旅行はグアム、香港まで、金持ちがハワイへ行くといった時代で、赴任後3年間は日本へ一時帰国させてもらえなかった。現在では、円高、航空運賃も安くなったので自費での帰国も容易となった。だれでも気軽に海外旅行する時代になった07年二度目の赴任時の成田空港見送り人数は3人であった。寂しさよりも海外転勤が国内転勤と同レベルになっ

たのだとうれしく感じた。

会社に初出勤し新たな気持ちで仕事に取り組 むのであるが私の経験を踏まえて注意点を記 す。

- ①叱るとき、注意するときは必ず別室で行う
- ②年長者を敬う気持ちを持つ
- ③博士、学卒、その他の階級差を理解する
- ④社内の不正には現地のルールに従う

大勢の社員の前で怒鳴り散らす上司があなたの会社にいるならその人は間違いなく海外向きでない。①は基礎中の基礎である。みんなの前で恥をかかされたと本人は捉え、大きな恨みを買う事になる。あなたや会社にリスクが有るかもしれないと心得たほうがよい。

情けない事に日本ではすっかり希薄になってしまった②は海外では今も生きているので注意が必要だ。20代で着任した若者が意気に燃えて現地の30、40代の人を命令口調で指示、指導するのは控えたほうがよい。こんな若僧で申し訳ないがよろしく、くらいの気持ちで対応する。

「学歴社会」と言うとマスコミや一部の人々は問題視するが海外では依然尊重されている。ジョク・ジャカルタGajah Mada大学のDr.と言えばインドネシアNo.1であるのでたとえ知識が十分でなくとも敬意を示すべきだ。小・中学は義務教育だが金銭的問題で通学しない人も多い。家庭にゆとりがないと高校、大学は無理であるから卒業の価値は自ずと大きい。人事においてこの学歴は無視できない。

インドネシアでの「汚職」、「賄賂」問題は難しい。これは「犯罪である」と正義心を振り回さない方が賢明である。「中元」、「歳暮」を贈るあなたに多少の下心がないとは言えまい。民間企業が10%以上昇給し消費者物価が上がっている時に政府は、「国家財源にゆとりがないので、公務員の昇給を見送る」と発表する。日本的発想なら、デモ、ストライキで生活困窮を訴えることになるがここは違う。軍隊や警察が会

社に来て許認可書類にいちゃもんをつける。総 務担当社員は事の背景が分かっているので「お 金」を渡して引き取ってもらう。

義務教育課程には留年制度が有り先生に進級のための「お金」を払うのが大変だと従業員がほやいていた事を覚えている。「お金」はプールし関係者間で不満がないように分配し、一部の人で取り込んだりすると不満分子から「賄賂事件」としてマスコミにリークされると聞いた。故に、この問題は難しい。

海外勤務に慣れてくると会話も上達しローカルスタッフが色々質問してくるようになる。これは彼らとの距離を縮め、信頼関係を構築する機会ととらえ真摯に対応すべきである。母校で受講した、化学工学、無機化学、有機化学、熱管理が回答を提供するのに大変役に立った。丸善の便覧は必需品であった。

暫くして遭遇するのが不正行為である。金銭 不正は出来にくい仕組みになっているが、情報 漏洩だけは防ぎようがない。昨今は小さいメモ リで膨大な情報を持ち出す事が出来る。しかし 価値ある情報は何かを知っているのは会社の上 層部に限られるし、「御社の情報を売り込みに 来た」と電話で教えてくれる事もあり漏洩者は 割れる。



1985年の会社周辺, 椰子の樹ばかりの田舎, 自家発電機で電力を作り生産していた。

1984年は生産担当で、2004年は社長職で赴任 したが、この20年間に日本人の英語力が低下し た事に驚いた。名工大の先生方に質問します、 原書を使った専門課程講義はいくつありますか と。工場英語会話は日常英会話だけでは表現し きれない。専門用語は原書からしか学べない。

インドネシア人は誰でも3~5種類の言葉を使いこなす。会社のあるタンゲランの住民で考えてみると、まず地元の言葉であるスンダ語、隣の地域のジャワ語と国語のインドネシア語で3種類となる。インドネシア語はマレー語系であるからマレーシア、シンガポールでも通じる。モスレムはコーランを読むためにアラビア語を覚え、大学は英語の教科書が多いため英語もマスターし合計5種類となる。多民族、多言語、多文化国民のDNAなのであろうか、簡単な日本語はすぐ覚えてしまう。名工大生がんばれ!

家電、パソコン業界の苦戦がマスコミで大ニュースとなったが、28年前の駐在時代にそんな予感がした。「技術部門が強すぎる」ことで幾度も難渋したので。技術部門は自分の開発した新製品、革新的製品を積極的に紹介、売り込みたがる。国内で更に海外で拡販して、「グローバル製品」を開発したと上司にアピールしたいのだろうが、ほとんどの場合ミスマッチで終わる。より安価で、現行品より少し特徴があれば十分なのだが、このような視点で取り組む技術部門は少なくなった。すなわち、「市場を見ず、上司を見て製品開発する」技術者が多くなった。そこに、日本の衰退を予感した。

今、JR東海の「リニア新幹線」計画が大型



インドネシアはバイクの生産国、大消費地である。

投資として注目されている。担当者や関係部署各位には大変申し訳ないが「市場を見ず」を予感する。「リニア」に対し海外ニーズは有るのか。EU圏、ロシアには新幹線計画が多数あるが全て、TGV、ICE、AVEなど既存のタイプでリニアはない。上海に商業用リニア線を建設したシーメンスは研究を中止したと聞いている。高速走行下のテロ対策、変電設備の警備なども課題となろう。また、超電導技術には技術の発展性、拡張性を持って雇用を生み外貨をもたらす可能性はあるのだろうか。

パソコンを安価なものにシフトさせたのは台 湾メーカーであり、低所得者でも買える車を提 案したのはインドのメーカーであった。

50年ほど前、サラリーマンでも買える車として「千ドルカー、パブリカ」が開発され今日の礎となった。その後、「技術立国ニッポン」として経済発展してきたわけだが、「サラリーマンでも…」の市場を見る姿勢が疎かになって行った。

2007年駐在時のアパートには50インチほどの 液晶テレビがあった。残念ながら韓国LG製で あった。視聴するのに何の問題もないが、ある 時画面の向きを変えようと画面外枠を押さえた ら、指に痛みを感じた。枠の裏側はプラスチッ クの角がむき出しであった。日本なら苦情だが 面を丸める工程を省いて日本製より安くしたと いう事であろう。Made in Japanに対する信頼 性は依然ゆるぎないが、信頼性のみに頼っては 生き残れない。郷に入っては郷に従うべき品質 と価格が有る事も技術関係者は認識してほしい。

海外勤務は苦労も多いが仕事と日常生活での 諸経験、日本人クラブや華僑との人脈、英語や 現地語の上達など自分自身の財産となるものが 多い。「デフレの日本に閉じこもらず成長著し い海外に挑戦しよう」をつたない冗文のまとめ としたい。





老年期の一考察について

道家 清正 (Y30)

人間は誰しも長生きをしたい、それも元気で 長生きをしたいと思っている。国の違いや人種 の如何を問わず、できるだけ長く生きていたい と願う心は皆同じでありましょう。だが、でき るだけ長くといっても、人間だけでなく、この 宇宙の中の生きものはすべて、一定の生きる目 的があってこそ生きているのでありますから、 一人のいのちがいつまでも生きている必要もな いし、また、できもしないと思う。つまり、定 められた目的を果たし終えれば役目終了で、そ のいのちは終わりになるのであります。

だから、できるだけ長くといっても、そこには一定の限界があり、その限界以上に長く生きようと願っても、それは無理というもので、願うほうが間違っているのであります。

そこで、それでは一定の限界とは、どのくらいのことをいうのであろうかということになる。

この頃、わが日本も長寿国といわれるようになり、平均寿命(2012年)が男子で79.4歳、女子で85.7歳になっており、世界一の男子長寿国香港は80.5歳、香港の女子は86.7歳で、いまや日本が世界一の長寿国ではない。これは本来定められた生きる目的を果たした限界の「いのち」であるかどうかが必ずしも断じられなく、しかも、その平均寿命さえも達成しないで世を去る人びとが多いということは、生命というものの意義を知ろうとしない人が多いということではないか。

いのちあっての物種だ、いのちがあってこそだ、いのちが一番大事だといいながら、実は「いのち」のことをあまり考えようとしない、「いのち」をそれほど大事にしない人びとがあまりに多過ぎるように私には思えてならない。大事



だ大事だというだけで、天寿を全うする努力も しないで、悔いながら早死するのは残念でなら ない。

それでは何歳が人間の天寿か、天寿を全うして人生をさわやかに終わる道があるのか、このことを考えて、人生これからという人びとの幸せを祈りながら考えてみたい。

「老いる」ということ。

老化というのは人体組織弱化の現象で、生き ものにとっては、避けることができない。

人間の体は、30歳くらいで最適な構造と機能の最高状態に達する。その後、年をとるにしたがって活力が減っていく、特に伸縮性のあるような組織には明らかに衰えが見られ、最も顕著な例は、皮膚の弾力の衰えと白髪であろう。

老化現象を顕著に気づくのは、友人など70歳 くらいから前かがみになったり、足元がなんと なくあやしげなのを見かけたりしたときだ。別 に病気ということでもないのに、老けたなあと 思うことがあるが、誰でも思い当たることであ ろう。食欲もあり、どこも何ともないのに手首 が少しずつ細くなり、足元がなんとなく不安定 な感じがする。これが老化の道なのだろう。私 は老化しても、ぼけ人間にならないように注意 しなければならない。

老化に対する心構えについて。

中年になると、必ずといってよいほど、腰や膝の痛みが起こる。そこではじめて健康に関心を持ちはじめるという人が多い。しかしここで考えねばならないのは、その年になって無闇に体を鍛えようとするのは間違っている。それよりも、「老化の速度」に眼を向け、この問題をどううまく持っていくかということを考える必要がある。老化は確実に進んでいく。しかし、適当な運動や生活行動のなかで自己管理をすることによって、老化の進行を遅らせることが正差があることを認識し、それぞれができる範囲内の健康法を考え、自分の体力に合った仕事、鍛え方をすることが肝要であります。

ところで、年をとってくると、腰や膝が痛いという人が多くなってくるが、その際、腰だけとか膝だけの問題とせず老化による痛みは全身的にとらえることが必要であります。人間は立って歩いたり、あるいはしゃがんで座ったりという生活のなかで、足とか腰は体全体とのつながりをもって行動している。だから単独の治療というわけにはいかない。手や足、腰、肩など、これらはみな一連のものであることを知っておく。痛みというのは、関節や、それを支えている筋肉などのバランスが崩れたときに現れる。

このバランスが崩れる原因としては、背骨や 膝など骨自体に障害があるか、あるいは筋肉や じん帯の老化によって姿勢が悪くなっているこ とが考えられます。このように骨や筋肉の変形、 つまり老化による形の異常が、痛みの原因とし て影響している。

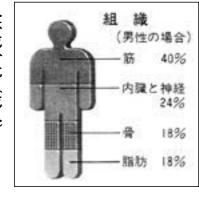
老化というと何か老いぼれたといった感じがするので、「かれい」と呼ぶ人もいる。加齢つまり齢を加えるという意味でこのほうが正確な言い方でもある。年輪を加えていく意味であり、まして万物の霊長といわれる人間が、百年も生きていることは、老いぼれどころか、その風雪に耐えた「加齢」を珠玉として尊重すべきことである。

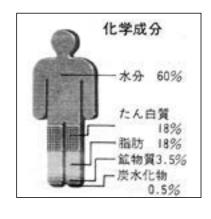
年寄りは転ぶべからず。

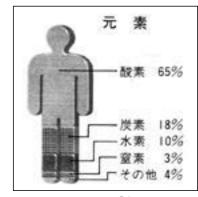
とにかく動くことだ!体を動かすことだ!臀部骨折は、一般的致命的な大事故とは考えられないけれども、老人の場合は、体が動けるかどうかということと生命とが密接に関連している。年をとっても体が動ける間は体力は衰えない。老人から動きを奪ってしまったら、生存そのものが脅かされることになる。つまり、老人になっても、できるだけ動くことが、いかに大切かということで、その動きを奪うような怪我をしないように、細心の注意を払わねばならない。

ここで老年医学の吉峰徳先生によれば、年だからといって、食生活を簡単に済ませることは危険である。元気な若いころの食習慣を維持し、自由に好きなものを食べるのがよい。低栄養は痴呆だけでなく、高年齢者の全身の健康にマイナスだ。痴呆を防ぐには、①よく本を読む、② 独居を避ける、③栄養不足にならぬよう注意する、ことが大切であると指摘しておられます。

人体成分比(成人)







出典:『家庭の医学』

この宇宙の中に生存する生きものは、人間をはじめすべての動植物、微生物に至るまで、太陽や水、空気その他あらゆる面で、相補い相助け合って生命を保ち、その使命を果たすよう仕組まれており、この大自然の法則を守り、これにしたがって生きる限り、すべての生きものが平和に幸せに生き、天寿を全うして、生存の意義を果たすことができるはずなのです。

人類がこの地球上に現れて既に久しく、あらゆる苦難を経験している。いつまでも同じあやまちを繰り返さず、新たな21世紀では、天の声に耳を傾け、宇宙の真理に則って生きる道に入り、人類の平和と幸福の世を築きあげたい。これこそ「天寿への大道」と云えるでしょう。

死の定義について。

人間は、生きものである以上、必ず「死」ということが付きまとう。いつかは死ななければならない運命にある。歴史的には、「死」とは心臓の停止、つまり心臓が動かなくなり、いわゆる鼓動が止まって血液の出し入れができなくなることとされてきた。それが科学技術の進歩で、止まるはずの心臓も鼓動させられるようになり、死とはどういうことになるのか、という問題が起ってきた。近年は脳の感覚や認識能力の全部が失われたら死であるという、いわゆる「脳死」説がでている。

人生は川の流れのようで、始めは細くちょろちょろと境界内に入って、岩や石の間をくぐり抜け、岸に差しかかって勢いよく進み、次第に川幅が広くなり、土手は遠のき水の流れが静かになるころには、やがて最後に川の途切れるところも分からぬうちに海に合流して、何の苦もなく消えていきます。人生は川のようでありたいもので、このようにして人間の生命は、宇宙から出でて宇宙に帰るものであり、その折角の人生でもあるので、お互い、後半の最後の期間は特に、上手に生きたいと思います。私は今、こうして生きてきたし、まだ生きていきたいと思う。

国連人口基金予測によれば、2050年には世界 の60歳以上の人口が20億人を超えて15歳未満の 人口を上回るとの予測を明らかにしており、衛 生状態の改善などで、社会保障制度の整備が 遅れている発展途上国でも高齢化の速度が増 しており、各国に社会保障サービスの充実を促 しておる。60歳以上の世界人口は50年には20億 人を超えて世界人口の22%になると云う。将来 の高齢者人口が圧倒的に多いのはアジアで50年 で12億5千万人になる見通しとのこと、中国で は、人口の33.9%の4億3900万人が60歳以上で、 インドも3億2300万人が人口の19.1%を占める。 60歳以上が占める国は現在31.6%の日本だけだ が、50年には韓国やタイなどを含む65ヵ国に 増えるとのこと、対応として、年金制度や、保 健、医療サービスが必要と指摘しています。

ある詩人は、宇宙は愛の泉である。あらゆる 生命は宇宙の愛によって生きる。地震も台風も 噴火も春夏秋冬と共に生命を鍛え育む。大自然 の法則摂に反するとき生命は滅びると歌われて おります。

人間は誰でも幸せに生きたいと願っており、 それは人間に限らず、宇宙・大自然に生存する 幾百億種の「生きもの」の願望であります。幸 せに生きるための第一要件は、その心身の健康 であります。生命体の心身が健やかで正常でな ければ、どんな財宝に囲まれていても真の幸せ にはならない。それにもかかわらず、人びとの 生きざまをみてきた限り、その願望とは裏腹に、 天寿はおろか、60歳で世を去り、80歳を越すの は珍しいといわれておる実情である。天寿まで 40年の時間をフイにしておることになります。 これは「いのち」の真の尊さを深く考えず、少 しばかりの欲望に惑わされて道を間違えたり、 ちょっとの油断や不注意のために、また当然の 努力を怠ったりして、天寿に遠く及ばなくなっ たのであろう。「いのち」の担い手である"わ れわれ"が全うするために真剣に考えるべきで ある。





国際化推進事業費 (学長裁量経費) 授与式

名古屋工業会からの寄付金に基づき学長裁量経費による国際化推進事業費の平成24年度(第一次分)の授与式が9月3日(月)に学長室で行われ、取組事業責任者、髙橋学長、篠田理事長等大学及び名古屋工業会の関係者が列席されました。学長、理事長の挨拶の後、学長が取組事業責任者に採択通知書を授与し、取組事業責任者を代表して佐藤淳教授が謝辞を述べられました。

本事業は、学生、教職員が海外の企業や高等教育機関、研究所等を訪問し、国際インターンシップ 又は教育研究活動に従事する取り組みや、外国人留学生を支援する取り組みを支援し、大学の国際化 の基盤作りを強化・推進するものです。

第一次分の採択事業()は取組事業責任者

- (1)学生の海外におけるインターンシップ 3件
- ・米国・スペイン・オーストラリアとの海外インターンシップと学術交流推進事業

学生3名、教員1名(伊藤孝行准教授)

・紛体工学国際ネットワーク形成プログラム

- 学生2名(藤正督教授)
- ・最先端橋梁用振動台による加振実験を通じた海外プロジェクトの遂行能力の向上

学生1名、教員1名(海老澤健正助教)

(2)学生の海外留学 3件

- ・EFREIとの国際連携に基づく情報工学グローバルプログラム 学生10名(佐藤淳教授)
- ・セラミックス国際ネットワークにおける学際性強化のための教育研究派遣プログラム

学生3名(春日敏宏教授) 学生4名(柴田哲男教授)

- ・海外大学における学生の現地指導と国際化
- (3)大学が海外で主催する国際的セミナー 1件
- ・微分幾何学とその関連分野における国際コロキウム

教員1名(足立俊明教授)

- (4)外国人留学生奨学金 4件
- ・情報工学教育類学部私費留学生支援(ネットワーク系プログラム)学生2名(高橋直久教授)
- ・マルチエージェント計画法のRobocupへの適用
- 学生1名(泉泰介准教授)
- ・情報工学教育類学部私費留学生支援(知能系プログラム) 学生1名(犬塚信博教授)
- ・電力系統に接続される蓄電池システムの小型高効率双方向AC/DCコンバータの開発

学生1名(竹下隆晴教授)

(5)教職員による優秀な外国人留学生のリクルート 1件

・ハノイ工科大学における優秀な留学生候補生に対するリクルート

教員1名(水野直樹教授)



学長・理事長・北村特別補佐と取組事業責任者



謝辞を述べられる佐藤教授



名工大院生がAC-CA 国際建築コンクールで3位入賞

(24.8.25中日新聞)

大村拓也さんと青山亨央さん(共に名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻1年)が、英国のArchitectural Competition Concours d'Architectureが主催する国際建築コンクールで3位に入賞し、800米ドルの賞金を獲得した。3位以内の入賞は日本人初で、学生入賞は今回も含め2チームのみの快挙。

このコンクールは、世界中の施設や建築物をテーマに、敷地面積など決められた条件の下で自由に発想し、特定の機能に対応するだけでなく都市への影響も考慮したデザインを競うもので、第4回となった今回のテーマは、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスに建設する現代美術館。かつて港町として栄え、特に再開発が進むウォーターフロントのプエルトマデロ地区、ラ・プラタ川沿いでの建築がポイントとなった。

二人の受賞作品名は「DUAL OUTLINE」で、現代美術館が都市と建築を明確に分節・分断するのではなく、「都市と建築が相互に呼応し

それぞれの役割を果たしながら一体化するような、魅力ある環境を形成すること」をコンセプトに設計したとのこと。建築の内と外の2つの輪郭を規定し、2つの輪郭の間に存在する"余白"の空間を建築内に立体的に展開させることにより、再開発地区において建築とそれを取り巻く環境に自然の持つ優雅さやおおらかさを提案している。



大村拓也さん(左)と青山亨央さん

名古屋工業会の本部関係会議情報 (平成24年4月~9月)

- ○運営委員会 4月10日(火)18:00~
 - 議題1 平成23年度事業報告及び収支決算案について
 - 2 平成24年度事業計画及び収支予算案について
 - 3 各委員会の活動報告について
 - 4 一般社団法人への移行認可申請について
- ○理事会 4月21日(土)13:00~
 - 議題1 平成23年度事業報告及び収支決算案について
 - 2 平成24年度事業計画及び収支予算案について
 - 3 役員改選について
 - 4 一般社団法人への移行認可申請について
- ○運営委員会 6月12日(火)18:00~
 - 議題1 平成24年度事業計画について
 - 2 代議員候補者の選考について
- ○支部長会議 7月21日(土)13:00~
 - 議題1 平成24年度事業計画と活動方針について
 - 2 代議員候補者の選出について





動脈硬化を早期発見する装置

広瀬 雄治 (電気電子工学科3年)

名古屋工業大学の松本健郎教授(機能工学) らのグループが脳梗塞や心筋梗塞につながる 動脈硬化度を多角的に計測する装置を開発し た。密閉された装置に腕を入れ、装置内の圧 力を加減することで平常では計測できない血 管の特性を計測できる。これによって、日本 人の死因の3割をも占める疾患の原因である 動脈硬化の早期発見が可能になると期待され ている。

松本教授は生体軟組織・細胞のバイオメカ ニクスを研究されている。バイオメカニクス とは生体の仕組みや成り立ち、振る舞いを力 学的な側面から研究する学問だ。今回開発され た装置は、その中でも血管の分野の医療応用 の結果だ。血管壁には内皮と平滑筋、2種の 細胞が存在する。従来のFMD (Flow-mediated dilatation) と呼ばれる検査では、この両方の 機能がまとめて計測され両者を分離すること はできない。また、同じ人を計測しても日に よって計測結果が異なる問題もあった。それ を解決する方法が、腕を入れた箱に陰圧を負 荷し、血管を膨らませた後の能動収縮を計測 するPMC (Pressure-mediated contraction) 検 査だ。これにより内皮と平滑筋、両方の機能 変化を正確に読み取ることができる。

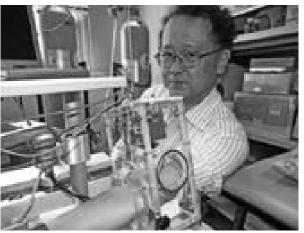
この装置は5年ほど前に着想したが、その後が大変だったと松本教授は語る。容器内に陽圧をかけると血管は圧縮され径は減少するはずであるが、実際には逆に拡張し、陰圧をかけた場合は拡張せずに収縮してしまった。これは平滑筋細胞の能動作用によるものだったが、当初の見当とは違い大変驚いたという。

また、意外なことに装置で一番ネックとなっ

た部分が "圧漏れ" 対策のシーリングだ。装置内に圧力をかけるには腕と容器を密閉する必要があり、当初はこれに速乾性シリコーンを使用していた。それでは測定に時間がかかり測定される人にも負担がかかる。その解決策として薄いゴムチューブが採用された。これで高い圧力をかけるときは装置の内側に、低い圧力をかけるときは外側に装備することで手軽に測定ができるようになった。

松本教授は「工学は広い。機械やモーターだけでなく生物は究極なシステム。そこにもっと広い目を持って飛び込んできて欲しい」と語ってくれた。

工学部で医学に関わる研究をしているとあまり思っていない方も多いかも知れない。生物を解明しそれをものづくりに応用するバイオメカニクスはこれからの工学を考えていく上で大変夢のあるものだろう。



動脈硬化を発見する装置(写真の人物は松本教授)

研究室の旅~佐野・田中・星研究室

安藤 真規(電気電子工学科2年)

今回の研究室の旅では明るく、開放的な雰囲 気が特徴的な機能工学専攻の佐野・田中・星研 究室を紹介する。担当教員は佐野明人教授(機 械)、田中由浩助教(同)、星貴之特任教員(若 手研究イノベータ養成センター)で、この研究 室では「明るく元気に」をモットーに、「知的 好奇心を目覚めさせる | 「創造性を一緒に育む | 「原理原則に従って真理を追究する」「研究マネ ジメントの訓練」の4つを教育理念として掲げ ている。所属する学生たちは企業との連携を通 してマネジメントを学んでいる。研究について の計画を自分たちで立てており、研究に使う物 資の在庫管理なども学生自身で行っている。学 生間の仲も良く、面白いアイディアがあればみ んなで話し合ったりするそうで、時には卒業生 が研究室にやってくることもある。研究室は大 部屋で、学生間の話し合いができる大きな丸机 もあるなどコミュニケーションがとりやすい構 造になっており、学生が質問しやすいように教 員の部屋の扉も開けたままとなっている。工作 室などもあり、学生たちが自分で研究開発に必 要な部品を作れるようになっている。

佐野・田中・星研究室では大きく分けると2 つの分野について研究している。1つは触覚に ついての研究であり、例えば触覚コンタクトレ ンズと呼ばれるものがある。これは触覚への刺 激を何倍にも拡大し、素手ではわからない微小 な凹凸でも感じ取ることができるようになる柔 らかい剣山状のデバイスである。例えば車のボ ディなどを製造する際、このデバイスが組み込 まれた手袋を使えば、物体の小さな凹凸の有無 まで点検することができるようになる。また超 音波の干渉を利用し、空中にかざした手に自由 自在に刺激を与える装置というものも研究され ており、手に物体の感触を疑似的に感じさせる ことができるため、未来のゲームなどへの応用 が期待される。触覚の研究はヒトなどを観察し、 ヒトがどうやって知覚しているのか本質を理解 する必要があるため、近縁のチンパンジーの研 究も行っている。

もう1つの研究は人の歩行などに関する研究で、2足歩行ロボットや歩行者支援スーツなど

について研究している。歩行者支援スーツとは、まひなどの障害により片足しか正常に動かなくなってしまった人を、左右バランス良く2足歩行ができるようサポートする器具のことである。モーターなどを搭載せずにばねの力を利用しているので、静かで故障も少ないのが特徴であり、デザインにも気を使っているそうだ。まだこの研究は実際に市販する段階にはないが、新聞に掲載されたことによって一般の方から手紙が来るなど注目を集めており、開発者の佐野教授は「今まで一般の人から手紙が来るようなことはなかった。つながった感じがした」と語った。

また研究室ではワークショップを計画しており、6月23日には第一回訪問ワークショップが森田良文教授(電気電子)と合同で名工大で開催された(http://nlip.web.nitech.ac.jp/)。これは歩行者支援スーツを展示するだけでなく実際に体験してもらおうという試みであり、今後は全国で開催していく予定である。ワークショップの開催を通して、どういう言葉を使って説明したら一般の人に理解してもらえるかを考えさせるために、いずれは学生が主導でやっていってもらいたいそうだ。現在ワークショップを開催する際の手伝いも募集しているそうなので、ワークショップに興味のある人はぜひ佐野教授のメールアドレス(sano@nitech.ac.jp)へ参加を希望してみてはいかがだろうか。



佐野・田中・星研究室の歩行者支援スーツ

デザインの間オープンゼミ開催 ~スマートな暮らしを考える~

小池 花央(生命・物質工学科2年)

2011年12月11日、e-生活情報センター「デザインの間」で伊藤孝紀准教授(建築デザイン)によるオープンゼミが開催された。

「デザインの間」とは、展示やイベントを通じて快適で地球にやさしい省エネ型のライフスタイル「スマートライフ」を提案している中部電力運営の施設だ。同年11月にデザインの間は改装されたが、そのインテリアデザインを伊藤研究室が手掛けており、キッチンやリビングなどの設備やライフスタイルが体験できるようになっている。

伊藤研究室では2010年4月から半年に一回ほど継続して産学官連携オープンゼミを行っている。「ゼミナール」という単語が「苗床」を語源とするように、研究成果を発表するだけでなく一般の方から意見をもらい議論しあうことで新しい発想を育てる、そのような場を大切にしたいという想いから産学官連携オープンゼミを始めたそうだ。デザインの間でのオープンゼミもその一環だ。

今回のオープンゼミでは改装に伴い、スマートライフとは何かということを学べるテーマで行った。当日は募集定員以上の参加者が訪れ、高齢者から子ども連れの家族まで、世代を超えた年齢層の参加があった。

オープンゼミを行う際は、難しい専門用語を使わないよう、誰にでも理解しやすい言葉やキーワードを用いるように工夫しているそうだ。「日常生活をデザインしよう」を副題としたこのオープンゼミで提示された重要な点は以下のようなものだ。

- ①小さなものから住宅までつながること:トータルでデザインされた照明から家具までの調和
- ②子供から高齢者までつながること:機能と 性能の追及だけではなく、豊かさや快適さ などを共有できる家族が楽しく生活できる コミュニティの創造

③身近な自然から地球環境につながること:かつて日本文化が持っていた、自然エネルギーを生活の中に取り込み共生する習慣、日本の美学(自然環境)を今一度再興し生活に取り込むこと

高度成長後、日本は大量生産、大量消費のなか技術を追求してきたが、果たして本当の豊かさとは何なのか。伊藤准教授はこれに対し、豊かな生活のためには、現代のテクノロジーと日本の伝統文化・美学の融合したデザインが必要ではないかと訴える。また「英国数のようにデザインも一般教養になってほしい。小さな意識が変わるだけで日常生活が豊かになる」とも語った。

今後も継続して産学官連携オープンゼミを 行っていく予定だという。日常生活をデザイン し、スマートライフを考えるきっかけにしてみ てはいかがだろう。



デザインの間1



デザインの間2

携帯端末などでメイちゃんと接することが可能に!

安藤 真規(電気電子工学科2年)

現在、本学の正門で学生たちを出迎えてくれているメイちゃん、そのメイちゃんとパソコンやスマートフォンを通して会話ができる技術が開発された。それがモバイルメイちゃんと、スマートメイちゃんだ。開発したのは打矢隆弘准教授(情報)と山本大介准教授(同)だ。この技術は音声技術をもっと一般の人に使ってもらい、楽しんでもらうことを目的とした科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業による徳田恵一教授(情報)が代表を務める研究プロジェクトの一環として開発された。

モバイルメイちゃんは音声通話ソフトを利用した高校生向けの大学案内サービスで、7月26日から8月7日に行われたオープンキャンパスで公開された。ビジュアルや機能は従来のメイちゃんとほとんど同じだが、モバイルメイちゃんには、学科案内の機能が独自に追加搭載されている。また、メイちゃんはMMDAgentという技術によって作られているが、音声通話ソフトと連携させることによってメイちゃんとのテキストによるやり取りも可能となっており、より表現力の高い案内や会話が可能となっている。

8月1日にチラシも配布し、結果的に数十名の人が利用した。基本的な使い方は、ユーザーが話しかけることであるが、ユーザーがしゃべらないときは、メイちゃんから話しかけてくれるという機能も備わっている。打矢准教授は今後について、「今回のモバイルメイちゃんは高校生向けだったが、出欠システムや補講&休講情報を教えてくれる等、在学生向けに応用していくこともできる」と語った。

一方、スマートメイちゃんは、スマートフォン単体でメイちゃんが動くアプリだ。モバイ

ルメイちゃんと違い、外部のサーバーを通していないのでスムーズにメイちゃんが動く。また、メイちゃんのデザインもデフォルメされており、かわいい印象のデザインとなっている。 3 Dでデザインされていることも特徴の1つだ。

モバイルメイちゃんと同様に搭載されている 機能はオリジナルのメイちゃんとほぼ同じだ が、こちらはスケジュール管理機能が追加され ている。開発に際して、現在はスムーズに会話 ができるようになっているが最初は処理速度や 言葉が片言になってしまうことなど問題は多 かったそうだ。

今後について山本准教授は「現在は登録して ある言葉しか話すことはできないが、今後は ユーザーがメイちゃんの話す言葉を登録できる ようにすることで個人に特化したメイちゃんが 作れるようにしたい」と語った。

「現在正門にあるメイちゃんは、恥ずかしさからあまり使っていないかもしれないが、ぜひ使ってほしい」と徳田教授らは語る。今後、モバイルメイちゃんやスマートメイちゃんが発展することによってメイちゃんと気軽に接することができるようになることに期待したいところだ。



左から打矢隆弘准教授、徳田恵一教授、山本大介准教授

学内ニュース

日本式工学教育を目指すマレーシア日本国際工科院 (MJIIT)の開校式に髙橋実学長が参加

6月1日、マレーシア日本国際工科院(MJIIT)の開校式が、マレーシア・クアラルンプール市内のMJIITにて執り行われ、名古屋工業大学の髙橋実学長が参加した。

開校式にはマレーシア側からナジブ・ラザク・マレーシア首相ほか、日本側からは鳩山由紀夫総理特使、加藤重治文部科学省国際統括官、荒川博人JICA理事らが出席した。また、大学コンソーシアムメンバーのうち22校から代表者が出席し、包括大学間協力協定(MOU)署名式も行われ、MJIITの開校を祝賀した。

開校式後、中村滋在マレーシア特命全権大使主催のレセプションが大使公邸で開催され、コンソーシアム幹事校を代表して名古屋工業大学の髙橋実学長が挨拶をした。

名古屋工業大学では70名ほどのマレーシア卒業生を輩出しており、一昨年にはマレーシア同窓会を立ち上げている。また、マレーシアに海外拠点を設置することも検討しており、今後も重要な相手国と考え、優秀な人材確保という観点からも大いなる期待をしている。 (事務局)



中学生対象に「ものづくりに挑戦!」事業開催

名古屋工業大学では、去る8月8日~10日の3日間にわたり、地域貢献事業「ものづくりに挑戦!」を開催した。

「ものづくりに挑戦!」とは、技術部の技術職員が講師となり、『作る喜び』や『実験の楽しさ』を体

験してもらうことを目的に開催している公開講座で、 12回目の開催となる今年は愛知県内から121名の中学 生が参加した。

「万華鏡を作ろう」、「熱を利用して発電してみよう」など11のテーマにそって日常では体験できない工作機械や、はんだごてを使用して大学の実験や実習を一足早く体験した。

参加者からは、「ものを作ることの楽しさにふれることができて良かった」、「ただ組み立てるだけでなく仕組みも理解できて良かった」などの感想があった。 (事務局)



参加する中学生

名古屋工業大学先進セラミックス研究センター開所式を開催

国立大学法人名古屋工業大学(学長 髙橋 実)は、本年4月セラミックス基盤工学研究センターを「先進セラミックス研究センター」として改組を行い、去る8月3日、文部科学省研究振興局学術機関課 髙橋憲一郎学術研究調整官、科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課 山岸 剛行政調査員及び地域の議員、行政、産業界、研究機関等からの来賓をはじめ、産官学の関係者約50名を迎え開所式を行った。

同センターは、1973年に本学御器所地区に創設された窯業技術研究施設が前身であり、1977年に多治 見市旭ヶ丘に移転、1991年にセラミックス研究施設、2001年にセラミックス基盤工学研究センターを経 て今回の改組に至ったものである。

冒頭、髙橋学長より「国際的な技術競争を戦うため、セラミックスを軸にした更なる発展に期待している」と挨拶があり、引き続き来賓の方々からのご挨拶、新センターの概要説明の後、除幕を行い新センターの発足を祝った。

新研究センターでは、これまでの研究をもとに実利的な材料に仕上げる研究に取り組むとともに、環境・資源・エネルギー問題を解決し、持続型社会の構築を実現するため、知的マテリアル創製学を核とし、地域の資源と技術が融合することで発展してきたセラミックス産業文化を範として、国際的・学際的・融合的な先進セラミックスの工学研究及び教育、並びに社会への還元に力を注いで行きたいと考えている。 (事務局)



挨拶する髙橋学長

ボート部が全日本大学選手権で第5位に入賞

2012年8月23日~26日に埼玉県戸田市・戸田ボートコースで行われたボートの大学日本一を争う第39回全日本大学選手権で、名工大ボート部の工学部都市社会工学科4年小島直也と生命・物質工学科2年早田陽紀が男子舵手無しペアで第5位に入賞した。

上位は実力のある大学クルーばかりだったが、最終日も順位決定戦までコマを進めた名工大ペアは最後のレースをトップでのゴールで飾り、みごと第5位を勝ち取った。 (事務局)



順位決定戦の名工大クルー

名工大でキャンパスミーティングを開催—学長と学生が意見交換—

名古屋工業大学では、学生中心の大学づくりを目指す一環として、学長と学生が直接意見交換できる場を設けるため、9月24日に「平成24年度キャンパスミーティング」を開催した。

当日は、学部学生、大学院生、外国人留学生ら多数の学生が参加。髙橋学長をはじめ関係する教職員

に対し、「授業・研究」「大学生活」「国際交流」「就職・ 進路」「課外活動」に関することなど、学生の希望や 意見が積極的に述べられた。

また、学長から学生に対して意見を求める場面もあり、終了予定時間を超過するほど相互に活発な意見交換を行うことができた。

名工大では、「キャンパスミーティング」を実施することで、教職員及び学生が一体となって大学を作り上げていく意識と関心が高まり、大変有意義な場を持つことができた。 (事務局)



質問・希望を述べる学生

平成24年度名古屋工業大学基金寄付者(平成24年4月~24年9月)

※数字は卒業年

【個人】	泉舘	昭則]	E25 3回	杉浦	潔彦	W34 2回	青山	春彦	E25	浅野	達彦	M43
	石黒	正康	D48	上埜	靖	M38	牛込	進	Y33	加藤	武	W13
	神鳥	彰徳	院D44	佐藤	弘	D36	杉村	修一	A35	鈴木	倭	E34
	都筑	登	E29	中村	宗生	A35	橋本	純	A29	長谷部	『宣男	C39
	福原	證	F40	水谷	仁	院F49	宮﨑	茂次	B43	村松	英男	E58

【団体】 昭和39年金属工学科卒業生一同 E37同窓会 株式会社ワールドテック (寺倉修) 名古屋工業会第46回通常総会参加者有志

【上記以外に掲載希望しない方15名】

名古屋工業大学基金への寄付は、母校の発展に寄与するものです。同窓会や同期会、各種の会合等の機会を 通じてご協力いただきますようお願いします。

基金に関する問い合わせは、名古屋工業大学基金ホームページhttp//www.nitech.jp/kikin/index.html または電話052-735-5004犬飼まで。

情報 ネットワーク

平成24年度 東北支部総会の開催報告

東北支部の平成24年度総会は、6月2日(土)、仙台市の老舗割烹「大観楼」において、常務理事の二杁幸夫様(M39)をお迎えして開催されました。出席者は、仙台市近傍に在住の方々を主体に、14名の会員の方々に出席頂きました。

昨年3月11日に発生した東日本大震災から1年 余りが経過し、東北の被災地も徐々に復旧・復 興が進んでおります。名古屋工業会の関係者の 皆様の中にも、震災復興や福島第一原子力発電 所事故の対応などのために、多くの方々が東北 地域で仕事に従事されていると話がありまし た。

総会の場では、会員の皆様が、これまで以上 に元気で活力あふれる行動により震災復興に向 け取り組んでいく強い意志表明や誓いを確認し あいました。

なお、本支部総会をもちまして支部長を栗村 滋雄様 (C29) から斎藤文伸様 (A51) にバト ンタッチされることとなり、新たな体制で東北 支部を運営することが確認されました。

1. 支部総会

栗村支部長 (C29) のご挨拶に続き、今年度 の名古屋工業会第46回通常総会の報 告がなされました。栗村支部長を 議長に選出して議事に入り、東北 支部の平成23年度事業報告及び決 算報告が審議され、承認されまし

画及び予算が審議され、満場の拍 手にて承認され総会は無事終了し ました。

た。引き続いて平成24年度事業計

2. 名古屋工業会本部からの報告

二杁常務理事より『国立大学法 人 名古屋工業大学のその後の動 向と工業会の活動について』をテー マとしてお話を頂きました。大学ならびに工業 会の現状、課題等について説明を頂き、母校の 現状と将来展望に対する考え方の一端を把握す ることができました。

3. 懇親会

全員での記念撮影後、佐藤克己様(M23)の 乾杯の音頭により、祝宴に入りました。宴はた けなわとなり、会員の皆様の近況報告をしなが ら、今後の震災復興への取り組みや、日本の将 来などの話が盛況に交わされ、時間の過ぎるの も忘れる程によく飲み、親睦と団結力を深める 事が出来ました。最後に来年の再会を約し、和 やかに散会致しました。

4. 出席者14名

栗村滋雄(C29)、島本英明(C48)、柘植祥二郎(C52)、鈴木 聡(C57)、羽鳥明満(C57)、斎藤文伸(A51)、野中修(A54)、高橋克己(A56)、鈴木直樹(Ah17)、佐藤克己(M23)、宮島 博(D37)、松尾泰幸(Y35)、中村善吉(K35)、早稲田嘉夫(K43)

記:羽鳥明満(C57)



平成24年度 香川支部総会の開催報告

毎年6月に実施している名古屋工業会香川支部総会は、去る6月17日に支部会員26名が出席し、例年どおり香川を代表する観光名所である栗林公園で開催しました。

総会は、細谷支部長の挨拶に始まり、工業会本部よりお越しいただいた篠田理事長からは、最も関心のある「一般社団法人名古屋工業会」移行についての話題を中心に、今年度から新入生への積極的な入会活動、大学及び学生への支援等による大学との連携強化、代議員制度の導入など、貴重なお話をいただきました。引き続き浅野評議員による名古屋工業会総会の報告、幹事による平成23年度の香川支部会計報告等が行われました。

総会に続き、出席者の最長老である久保氏の 乾杯のご発声により懇親会へと移り、栗林公園 の庭園を眺めながらの料理と酒に話が弾みまし た。また、恒例の各人からの近況報告ではそれ ぞれが興味の尽きない話をされ、その中には愛 媛支部の活動再開に関する報告などもあり、例 年どおりの盛況ぶりでした。

約3時間の総会・懇親会の終わりは、全員で 「東海のほまれに」を斉唱。記念撮影を行って 散会いたしました。

記:前川 (SC¹⁰)



平成24年度

名古屋支部総会と見学会報告

平成24年9月15日(土)、名古屋支部の平成24年度総会と見学会を実施致しました。参加者は来賓、会員および同伴者を含め91名でした。総会は長野県昼神温泉郷の観光センターにおいて開催し、春日支部長の挨拶に続き、来賓の名古屋工業大学 学長特別補佐の北村正様および名古屋工業会理事長の篠田陽史様よりご挨拶を頂きました。その後、平成23年度事業報告と同会計報告、平成24年度事業計画と同予算計画の他、一般社団法人への移行に伴う代議員候補者の選出、名古屋支部行事への参加申込み方法の変更および今後の工場見学研修会のあり方について報告を行い、活発な協議を経て承認を頂きました。

昼食の後、国道151号線沿いの道の駅「そばの城」にてそば打ち体験を行いました。参加された皆さんは、慣れない手つきで捏ねる、伸ばす、切るの各工程と奮闘し、粉まみれになりながらも2食分のそばを完成し、お土産として持ち帰って頂きました。その後、飯田市の「お菓子の里飯田城」にてお菓子の製造見学とショッピングを楽しみました。

当日は三連休の初日でもあり、往路では一時 交通渋滞に巻き込まれましたが、幸い天気にも 恵まれ、南信州の清々しい空気の中での大変楽 しい一日となりました。なお、今年度より名窯 会が名古屋支部幹事を担当させて頂いておりま す。初めてで不慣れな面もあり、ご心配ご迷惑 をおかけしましたことをお詫び致します。

記:加藤隆史 (Y56)



総会

平成24年度 静岡支部総会開催報告

平成24年度名古屋工業会静岡支部 総会・懇親会を、平成24年9月8日(土)に、静岡市のクーポール会館にて、来賓に名古屋工業会より二杁幸夫理事(K39)、JR東海建設(株)より後藤晴男様(C49)をお迎えして開催致しました。出席者は、静岡県下から、37名の方々の出席を頂き、支部活動の再開後、最多の出席者数となりました。

【第一部】

森佑司様(A52)の総合司会、山之上誠支部 長(C49)の挨拶にて、開会されました。

◆来賓挨拶

名古屋工業会より二杁幸夫理事(K39)をお招きし、ご挨拶を頂きました。この中で、名古屋工業会は一般社団法人へ移行すること、「卒業生連携室」を中心に大学支援事業を強化することなど伺いました。この一環として、卒業生に対するメールアドレスサービスが開始され、より豊富な情報提供と卒業生間や大学間との多様な交流と発展が期待されます。

◆講演

講師に、JR東海建設㈱社長の後藤晴男様(C49)をお招きして、「中央新幹線」をテーマに講演頂きました。基本計画から工事着工に至る苦労話、計画路線の解説などお話頂きました。工事区間には多数の断層や南アルプスの貫通があり、難工事が想定されますが、開通により、



東京 - 名古屋 - 大阪を結ぶ大都市間の輸送力の 大増強が期待されます。思いのほか小電力であ ることも合わせて説明されました。子供の頃、 抱いていた「夢のリニア新幹線」が実現される ことになります。開通の時、支部で試乗ツアー を計画したいものです。

【第二部】

今回より、総会の進行手順を変更して、報告 事項の簡素化を図り第二部に移して行いまし た。

◆報告および承認

平成23年度会計報告、平成24年度予算案、役 員変更(森佑司新事務局長選出)の各報告を行 い、出席者にて確認・承認しました。

◆懇親会

高木郁生様(A52)の総合司会のもと、榊原学様(F48)の乾杯ご発声により、歓談に入りました。今回は4つのテーブルを「あいうえお順」にて座席の配置を行うことにより、世代や勤務先を超えて懇親を深めることができました。また、各テーブルの代表者4名の方々に、自己紹介や近況報告、学生時代の思い出話などのスピーチを頂きました。最後に、名古屋工業会と静岡支部の更なる発展を祈念し、藤井義磨郎副支部長(Es49)の一本締めにより、懇親会を締めました。

記:山岡宏司(F57)



大阪支部 24年度「春季歴史探訪の会」 開催報告(新旧の歴史を訪ねて京都洛中を探訪)

まだ4月というのに夏日となった好天の平成24年4月28日(土)、総勢23名(内、ご夫婦3組)が、定刻にガイド氏に伴われて地下鉄「二条」駅を出発。今回は遠路はるばる千葉県からB41小林尚好氏ご夫妻も参加された。

出発してすぐ、かっての平安京の都大路の朱 雀大路に面した内裏の正門であった「朱雀門跡 石碑」を見て、すぐそばの「出世稲荷神社」へ。 ここはかって秀吉の邸宅であった「聚楽第」の 中にあったが、後にこの地に移され秀吉の出世 にあやかろうといまだにお参りが絶えないと言 う。ここから約10分で「史跡・平安京大極殿跡」 へ、さぞかし立派なものだろうと行って見ると、 町屋の中のひっそりした児童公園の一角に、少 し場違いな大きな石碑が残されているのみであ る。しかし当時の大極殿の様子は、今の平安神 宮に縮小されて再現されていると言い、往時の 壮麗さをしのぶことが出来た。この後世界遺産 の「元離宮・二条城」へ、徳川将軍家の上洛時 の宿舎として建てられた平城で書院造りの御 殿、その部屋々々を飾る狩野派の障壁画や徳川 慶喜が大政奉還を決した評議の様子などが、等 身大の人形によって見ることが出来る。御殿を 出たあと、小堀遠州が設計した特別名勝の庭園 を鑑賞して、二条城を後にする。城を出てすぐ 城の南に面した「神泉苑」へ、かっては平安京 内裏の苑池として広大さを誇っていたが、今は わずかの池泉に当時の面影を残すのみである。 池には泉が湧き、竜王を祭るなど水に縁が深く、 雨乞いの聖地として知られ、空海が祈ってその 霊験があったとか。ここを出て、昼食に向かう 途中で、個人住宅では異例の「重要文化財・二 条陣屋」前では、現在修理中で中には入れない ので説明のみを受ける。上洛大名の宿舎の町屋 ながら、内部は忍者屋敷もどきの数々の仕掛け があるという。

昼食の後は、「壬生寺」の門前近くにある「新選組壬生屯所跡」で新選組発祥のいきさつなどを聞いて、隊員などが教練をしたという「壬生寺」へ。寺内には隊士の墓などもあるが、今回の目的は重要無形民族文化財に指定されている「壬生大念仏狂言」の鑑賞である。この狂言は年に十余日しか催されないもので、「ガンデンデン」と鉦、太鼓や笛の囃子のなか、仮面、衣装をつけ身振り、手振りで演じる無言劇である。

約七百年も前から、大勢の人に仏の慈悲を伝える宗教劇や、能や物語に題材をとった演目を演じ続けてきたという。今回は「炮烙割り」「賽の河原」「道成寺」などを見たが、なかでも最初の「炮烙割り」はその年の節分参り時に、人々が奉納した名前や願文を墨書した素焼きの炮烙を何百枚も舞台手前の手すりに積み上げ、これらを一気に突き落として割る壮観さが売り物である。

まだまだ見たいのを我慢して、次の元島原遊 郭内にある「角屋(すみや)もてなしの文化美 術館」へと移動。途中、わずかに残る元遊郭 の名残り、入り口の「大門」、置屋の「輪違屋」 などを見て、お目当ての「角屋」へ。ここは日 本最古の公許の花街の中にある揚屋(あげや) と呼ばれる料亭で、置屋(おきや)から太夫や 芸妓を呼んで歌舞音曲の遊宴の場を提供してい たもの。唯一の揚屋建築の遺構として、重要文 化財に指定されている。格式ある部屋や大きな 台所はもちろん、茶席を三つも設けた庭園など 見るべきものが多く、財団で保存に努めている。 最後は新しくて旧い「梅小路蒸気機関車館」に 入館。わが国唯一の蒸気機関車専門博物館とし て19輌を保有しており、そのうち9輌が動態保 存である。

「デゴイチ」の愛称で親しまれた「D51」の 1号機や、美しいスタイルから「貴婦人」と呼 ばれた「C57」の1号機などまぢかに見て触っ て、運転席に上ることも出来た。

今回の探訪は京都の洛中を丸太町通(一条と 二条の間)から八条通まで、北から南へ徒歩で 巡った充実の一日でした。

記:藤原 康宏(E36)



東京支部「東京ごきそサロン」報告

6月13日(水) 18時30分からいつもの八重洲倶楽部で第49回のごきそサロンが開かれました。

テーマと講師は前回に続き「原子力事故と今後のエネルギーについて(第2弾)」、E39織田満之氏で38名の参加者がありました。

メールなどの質問に応える形のため6ページ からなる資料が準備されました。

新聞、TVなどでは判らないその後の福島プラントの様子や質問に対する技術的な説明、回答が多かったです。資料の最後にJR東海会長・葛西敬之(よしゆき)氏の2012.5/29付産経新聞の「再稼働がリーダーの使命」という記事のコピーが配付されました。

論旨は「先憂後楽の基本を怠り国民に耳触りのいい甘言を弄した原発事故後の政府の対応が原発再稼働の一番のネックになっている。対策後の原発は速やかに稼働させろ」というものである。きわめて直截で明快な意見だと思います。

何事も自由だ、民主だ、平等だと言って戦後教育を受けた為政者のとんでもない間違えをズバリと言い当てています。

葛西氏の言い方を借りれば「苦い薬を処方するときは綺麗ごとを言い続けて万策尽きた時に初めて本音を出す」というのが日本的な常套手段である、だそうです。

写真はレクチュア中の講師と参加者です。下の放射線の実態はTVなどで報じられてる数値のうち人体への影響を反映している単位です。縦線数字はマイクロシーベルト(µSv)の常用対数。個々の数字には読みをあまり多くさせないためミリ単位もあります。全国民が受けている自然放射線の半分にもならない政府基準がいかにノーテンキで綺麗ごとかお判りいただけると思います。

記:加藤 勝英 (E39)

放射線の実態

1 10uSv/v 大方の原子力発電所周辺の実績 50μSV/y以下 原子力発電所の放出目標 2 1mSv/y 放射線量限度(2012.4以降の政府基準) 3 2.4mSv/y あまねく人が受ける年間自然放射線量 10mSv/y ガラパリ(ブラジル)自然放射線量 4 10mSv/v 東京・NY間を年50回往復する国際線クルー 50mSv/y 放射線医療従事者限度 100mSv/y 99%の放射線影響研究者が「安全」と認める。 5 因みにこれ以下での臨床症状なし 1000mSv/y 全身被ばく時10%の人が吐き気、倦怠 7000mSv/y 全身被ばくで死亡 LogXµSv/y



岐阜支部 平成24年度研修旅行報告 『京都の老舗料亭(瓢亭別館)で味わう料理と南禅寺散策』

名古屋工業会岐阜支部は、昨年度同様に「名 建築と美味料理」をテーマに、京都市を視察先 に選定しました。京都市南禅寺門前にある料亭 「瓢亭別館」で昼食を摂り、「無隣庵」と「南禅 寺」境内を散策するコースです。

料亭「瓢亭」は、約400年前の江戸初期、南禅寺境内の門番所を兼ねて、南禅寺総門外「松林茶店(腰掛茶屋)」として暖簾をあげたのが始まりと伝えられます。供待腰掛のある玄関、草庵風の建物と庭、気軽に食事の摂れる別館があります。料理としては懐石料理と弁当、茶粥などがあり、今回は別館で松花堂弁当をいただきました。

当日は、午前7時30分にJR多治見駅前を出発、 午前8時30分にJR岐阜駅前を経由し、一路京都 市に向かいました。参加者は名古屋工業会会員 と家族の参加で30名、昨年よりも少し人数も増 えました。午前11時30分に京都市に到着し、予 定通り料亭「瓢亭」に入りました。昼食は松花 堂弁当ということでしたが、つき出し、刺身小 鉢、お吸い物と弁当が饗され、京都風の美味し

い味付けでした。参加者は少しお酒も頂きなが ら昼食をし、懇親を深めることができました。 その後「無隣庵」を見学しました。無隣庵は、 明治27年(1894年)に元老山県有朋が造営した 別荘で、江戸時代は湯豆腐料理店の「丹後屋」 でした。木造二階建て数奇屋風主屋、茶室、煉 瓦造二階建て洋館があり、この奥に滝と池、芝 生と樹木を配した池泉回遊式庭園があり、著名 な小川治兵衛の作庭です。その後「南禅寺」を 散策しました。南禅寺は禅宗南禅寺派の総本山、 勅使門(重要文化財)、三門(重要文化財)、法堂、 方丈(国宝)が一直線に並ぶ禅宗様式の伽藍配 置、ローマ風にデザインされた琵琶湖疎水の水 路閣など、建築学科や土木学科OBより詳細な 説明があり、午後3時30分には京都市を出発し、 無事帰路につくことができました。

来年度も建築学科のテーマである「名建築と 美味料理」を継続し、金沢市の料亭へ行く予定 です。岐阜支部会員の皆様や家族の方の参加を 歓迎しますので、今後も是非ご参加ください。

記:田中清之(A54)



瓢亭玄関での集合写真





瓢亭の料理

昭和37年W科卒業50周年記念同窓会報告

4月5日、桜咲く名鉄犬山ホテルにて、昭和37年W科卒業50周年記念同窓会を、18名の級友を集めて盛大に祝い、楽しんだ。

我々W37は卒業生39名、その内、中村昭夫君、 黒川清治君、斉藤照一君、田村力君、戸本雅彦 君、本林孝三君の6名はすでに鬼籍となったが、 ホテル宿泊の祝賀会に18名もの出席は好成績。 我々W37会は会名にちなんで、毎年3月7日同 窓会を重ねること、すでに二十数回、いつも、 東京から、大阪から笑顔が集まってくる。今年 は、奥さんが大病で苦労を重ねる山本君は奥さ ま同伴で参加、かっては亭主関白だった山本君 が、今は徹底した奥さん孝行に勤める姿は、皆 の感動を集めた。東洋紡績役員から関西経団連 に推されて本州四国連絡高速道路KK社長を勤 める伊藤周雄君、72歳を過ぎた今も現役。しか し、大半の友人は今や晴耕雨読の優雅な毎日、 集中する話題は健康と趣味。翌日のゴルフ大会 は、僅差で西尾君が優勝。彼も長い間、双友会 会長でご苦労さん。卒業50周年を記念して、大 学に植樹をしようや、そんな話題も自然に提案 されて、自然に決まった。矢張り、懐かしい友 と出会う同窓会は実に楽しいものだ。

記:西川(W37)



双友会東京支部報告

双友会東京支部は5月16日 (水)、KKRホテル東京11階 松の間にて恒例の懇親会を開催しました。当日は、名古屋から双友会会長 市橋洋志氏、大阪から関西支部長 今井啓祐氏のご出席をいただき、総勢16名で盛大な会合となりました。

開会の冒頭、東京支部長 山田實氏より永年 支部長を務めたのでこの際、後輩にバトンタッ チしたいとのご発言がありました。振り返れば 東京支部発足以来、20年近くその役目を果たし ていただき、更に続投をお願いするのは後輩と しても心苦しく、ご意向を尊重することといた しました。

後任には飯田秀郎氏(昭33卒)を選任、同氏から山田氏に支部長をお願いした経緯などお話をいただき、最後に全員の拍手をもってその労に謝意を送りました。

飯田支部長の発声で乾杯、開宴となり何時も のことながら御器所の思い出話から昨今の時局 談義、そして近況報告で宴は佳境に入りました。 市橋会長からはいまや死語となりつつある紡織 学科から生命・物質工学科への変遷、女子学生 の目覚しい活躍など、そして名古屋市立大との 薬工連携共同大学院が来年4月に創設されると のニュースをご披露いただき、隔世の感をもっ て承りました。

第19回懇親会の出席者16名(括弧内は卒年) は下記のとおりです。

山田 實 (23) 早川吉郎 (23) 飯田秀郎 (33) 佐藤 誠 (33) 森川 勲 (34) 富田正隆 (36) 西口 浩 (37) 倉島俊二 (38) 高瀬達也 (38) 中村 勤 (38) 市橋洋志 (40) 今井啓祐 (40) 鷲見武彦 (40) 魚住峰男 (42) 谷口庄平 (42) 印藤 嶠 (43)

記:佐藤



名工会東京支部 第210回ゴルフ大会報告書

第210回東京支部ゴルフ大会は、3月26日 (月)に神奈川県本厚木カンツリークラブにおいて24名が参加して行われました。優勝は田北元良さん(C34)で、グロス86、ネット78で、準優勝はグロス101、ネット81の野澤滋為さん(M36)、3位は沢田正弘さんが獲得されました。更に、満75歳以上のシニア賞は、松下昭さん(E23)が受賞されました。

また、安藤文夫(E31)氏が傘寿を、横田章 宏(D33)、岡田明義(E34)、沢田正弘(E34)、 中村和男(E34)、中村芳明(M35)の各氏が喜 寿を迎えられ、記念品が授与されました。

次回は、2012年6月12日(火)に千葉県佐倉 カントリー倶楽部で行います。

記:小関 健二 (M18)



名工会東京支部 第211回ゴルフ大会報告書

第211回ゴルフ大会は、平成24年6月12日 (火)に佐倉カントリー倶楽部で開催されま した。

参加者は、ゲストとして加藤規様(E30)の 奥様の参加もあり、合計21名6組での開催と なりました。 数日前には関東地方の梅雨入りも発表され、 冷たい風が吹く梅雨寒の中を、アウト、イン各 3組に分かれて9時45分からスタート、午前中 はなんとか降られずに済みましたが、午後から は冷たい雨となり、だいぶスコアを落とした方 もいましたが、何とか全員無事に終わることが できました。

結果はアウト47、イン44、グロス91でまとめた野澤滋為様(M36)がネット73で見事優勝となりました。野澤様は直前の3大会でも、4,3,2位と着実に順位を上げ、今回はベストグロスで栄えある優勝となりました。

準優勝は、後半スコアを落としたものの、 グロス98、ネット75でまとめた 伊藤禎治様 (A35)、3位賞は グロス101、ネット77で 田 原敬造様(C31) が獲得されました。

なおシニア賞は今回から廃止することになりました。シニア該当者は今回も11名と参加者の半数以上を占めており、このところシニア賞が他の賞と重複するケースが多くなったので、4月の幹事会で廃止が決まりました。

競技終了後の懇親パーティーでは、小関健二様 (M18) から各入賞者に賞品が渡され、入賞者の喜びとユーモア溢れるスピーチを頂きながら、盛会裏にパーティーを終わりました。

次回は9月に恒例の若洲ゴルフリンクスで開催を予定しています。

記:田北元良(C34)



第90回名工大ごきそ会報告

第90回ごきそ会が平成24年6月28日(木)に 愛知カントリークラブにて、15名の参加をえて 開催されました。梅雨真最中でありながら好天 気にも恵まれゴルフ日和の一日となりました。

結果は、会員の中で1番若い山田和男様(E 47)がグロス103、NET84で初めて優勝されました。2位はグロス93、NET85の篠田陽史様(M33)が、3位はグロス90、NET86の光行恵水様(C31)がベスグロ賞も一緒に獲得され、プレー後、懇親会の中で表彰式を行いました。会員の方々は改めて愛知CCのコースの難しさを再認識されたと思います。

このたび90回を終えまして次回は、優勝カップの獲り切り戦となります。同時に今回出席されました会員の方々の了承をえました新規のハンデイで行っていきます。次回は、新南愛知CCで開催を確認して散会をいたしました。

ごきそ会では会員を募集しています。名古屋工業会の会員であれば入会できます。三好CCや愛知CC等で、年4回プレーしています。入会希望者は森川氏(t.morikawa@aria.ocn.ne.jp電話 052-751-6855)までメールもしくは電話でご連絡ください。

記:柴田 作(A42)



2012年度

名工会三河支部親睦ゴルフ大会報告

平成24年9月29日(土)、岡崎市のサンベルグラビアカントリー倶楽部にて総勢29名に参加いただき開催いたしました。気温も程よく絶好のゴルフ日和となりました。

結果は、野々山秀夫氏(K45)がネット72.6 (グロス93)で優勝、2位は同ネットスコアでしたがグロス99でグロス順位により岡本幹浩氏(M60)、3位はネット72.8 (グロス80)で舟橋 晃氏(Es53)という結果となりました。今回は各組のスコア平均によるチーム戦も行い、チーム内での交流も深めることができました。

ホールアウト後はコンペルームにて表彰式に 先立ち、定期総会の資料を中心に名古屋工業会 の事業および計画の報告やトピックスなどを資 料を使い、参加者へ報告を行うミニ総会を行い、 一般社団法人への移行や新規会員の募集および より若い層へのイベント勧誘のお願い等を案内 いたしました。

今回はホールインワンが飛び出すなど非常に 盛り上がるミニ総会およびコンペとなりまし た。

記:山本 桂己(Zk11)





東京支部『東京ごきそサロン』開催のご案内

第50回「東京ごきそサロン」を次のとおり開催致します。今回は第50回を記念して母校の新進気鋭の研究者小坂 卓 准教授をお迎えします。会員各位のご参加をお待ちしています。

開催日時:平成24年12月12日(水) 18時00分~20時00分

開催場所:八重洲倶楽部(東京駅八重洲口地下) 電話:03-3275-0801

テーマ:「省・脱レアアース高出力密度モータの研究開発状況」

講師:小坂 卓(こさか たかし)氏(EJ平成6年卒):名古屋工業大学准教授 平成11年3月名古屋工業大学大学院 電気情報工学専攻 博士後期課程修了、博士 (工学)。12年4月同大学助手、現在准教授。この間、14年からの2年間、日本学術 振興会特別研究員としてイギリスのレスター大学で研究に従事。専門は電気機器・ エレクトロニクスで、現在は主に、省・脱レアアースモータの設計と制御に関す

講演概要:名工大はマシン(電気機器)の教育・研究が竹上武雄先生の頃から有名で、松井信行前学長がそれを継承し、現在、引き継いでいるのが小坂准教授です。さて、HEVやEVなどいわゆるエコカーでは、モータが主あるいは補助動力源を担っていることはご承知の通りです。動力源に成り得たのは、レアアース磁石のおかげです。一方、2年前の尖閣諸島問題発生の際の中国による輸出規制などご記憶の方も多いと思います。(最近、さらに物騒な状況ですが…)当時、NEDOの次世代自動車向けモータプロジェクトの一環として、小坂准教授のグループがレアアース半減を可能にするモータを試作し、試運転に成功、「報道ステーション」にも取り上げられ評判になりました。今回は小坂准教授をお迎えし、省・脱レアアースモータの研究開発の意義、開発成果、その将来についてお話し頂きます。

会 費:1,000円(懇親食事代)

る研究に従事。

申 込 先: 食事の準備の都合上、12月5日 (水) までに下記の各科常任幹事宛、電話、FAX 又はe-mailでお申し込み下さい。各科常任幹事は出席者名簿を12月8日 (土) までに三山まで E-mail (miyama@asahibond.co.jp) あるいは FAX (03-3972-4583) によりご連絡下さい。

C原田: Tel 03-3535-1579

e-mail: tatsuji.harada@toda.co.jp

A小松: Tel 03-5461-1695 Fax 03-5769-1915

e-mail: komatsu.nobuharu@obayashi.co.jp

M北野: Tel/Fax 045-822-3293

e-mail: y-kitano@c3-net.ne.jp

E加藤: Tel/Fax 029-273-5506 e-mail: kato.katsuhide@sound.ocn.ne.jp

D三山:Tel 03-3972-4909

e-mail: miyama@asahibond.co.jp

W飯田: Tel/Fax 03-3688-1961

Fax 03-3972-4583

e-mail: imas-hi@cameo.plala.or.jp

Y日沖: Tel 03-3347-7512 Fax 03-3347-7548

e-mail: hioki3@y6.dion.ne.jp

K阪井: Tel/Fax 0468-03-5850

e-mail: rensaka@iis.u-tokyo.ac.jp

F嶋 : Tel 0466-83-9490 Fax 0466-82-9239

e-mail: shima.shohei@ebara.com

B濱野: Tel 042-795-0641

e-mail: k-hamano@h01.itscom.net

Es平手:Te1/Fax 045-321-7626 e-mail: hirate@nifty.com

係北野: Tel/Fax 03-3467-5739



東京本部 〒112-0011 東京都文京区千石 4-45-13 TEL:03-3946-0531代 FAX:03-3946-4340

神奈川支部 〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荏田東 1-23-2 TEL: 045-532-3827 FAX: 045-532-3828

浜松支部 〒430-0806 静岡県浜松市中区木戸町 3-18 TEL:053-461-5662

山形支部 〒994-0026 山形県天童市東本町 1-2-20 TEL:023-651-6102 FAX:023-651-6102

http://www.eichi-patent.jp

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

メカから電気・電子、半導体まで 開発設計、品質、生産技術、生産まで

技術系全25講座一材料、加工、設計、電気・電子、 組込コンピュータ、各種要素技術…

品質系全30講座一DRBFM、なぜなぜ分析など 各種未然防止手法

マネシ・メント系全10講座一経営品質、もしトラリーダンップ、 プロジェクト管理・・・

Worldtech

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

名古屋市中区錦2-15-22りそな名古屋ビル7F 〒458-0901

FAX:052-219-6026

TEL: 052-219-6025 E-mail:solution@worldtech.co.jp

一般建築からコンクリート 補強・補修・耐震工事まで

おかげさまで50年



株式会社 前田組

昭和区紅梅町3-3 ☎852-2225

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで トータルサポートでお値打ち!!

いたします。 Macintoshのみならず、ワード・一太 郎等の通常オフセット印刷に適さな いWindowsデータの出力ノウハウも



(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。





左のQRコードにて携帯サイトに 簡単にアクセスできます。 (一部対応しない機種がございます。)

ブライダルコース ¥220.500▶¥204.750 etc. エクセレントコース ¥378.000▶¥362.250 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です

- ●成婚率は業界トップクラス。
- ●入会審査有り。 ●都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。 ●お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化

お問い合かせ 日 0120-415-412 http://www.bridal-vip.co.jp ♥ 株式会社 ブライダル 名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F Network 東京·横浜·湘南·浜松·豊橋·名古屋·岐阜·大阪

広報委員会

委 員 長 森川 民雄(W45)

啓(C49) 前田 健一 山口 北川 啓介 (A®) 安楽 崇宏 (M®) 光利 (E50) 大羽 達志 (MF③) 廣瀬 中村 吉木 満 (W56) 剛士 (EJ⑤) 野中 久義 (D9) 幸治 (ZW⑤) 高木 清正 (Y30) 吉野 明広(G53) 道家 本多 沢雄 (ZY⑥) 宮地 義彦(K50) 賢一 (F47) 米谷 昭彦 (F60) 守田 横山 淳一 (Fb⑥) 犬飼 伸宏

会誌「ごきそ」のバックナンバーは、名古屋工業会のホームページ http://www.nagoya-kogyokai.jp/でご覧いただけます。